

派遣先所属 福島県総務部市町村総室市町村行政課 氏名 遠藤 祐治
派遣期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 派遣業務の内容、現況

担当業務では、現場で被災者の方に直接相対する機会はほとんどなく、市町村の職員の方が対象となります。そのためどこまで復旧・復興に寄与しているのか目に見えていないことがあります。ふくしま産業復興投資促進特区等や避難指示区域の見直し、浮体洋上式ウインドファーム（浮体式洋上風力発電）の試験運転など日々の情報の中で復興に向かって進んでいると感じています。また、日常生活においても福島市内は通常の生活が営われています。

派遣先の市町村総室（市町村行政課、市町村財政課）では、私以外に北海道庁（市町村行政課）、岐阜県庁（市町村財政課）の 3 名が派遣職員として福島県職員と共に執務を行い、福島県職員が復興事務に集中出来る体制となっています。昨年度までは兼務職員として復興局へ人員を配置していたことから人員不足が生じていたようです。

私の業務は、避難地域 12 市町村以外からの市町村要望の対応に関する業務、原発避難者特例法に係る避難者名簿作成に係る疑義照会・回答、地方分権推進のための権限移譲や一括法（25 年度は第 3 次一括法）に係る事務の説明会を開催しながら市町村のフォロー等を行っています。また、補助的ですが市町村への人的支援として、町合同任期付職員採用試験説明会や任期付福島県職員採用試験説明会の手伝等を行った他に参議院選挙の手伝いも行い、初めての経験で参考になりました。

市町村からの要望について、震災後避難地域 12 市町村（南相馬市、田村市、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楡葉町、広野町、川俣町、飯舘村、葛尾村、川内村、）については避難地域復興課が要望窓口となり避難地域からの要望に応じてきましたが、避難地域 12 市町村以外の市町村は原発被害等があっても、県としての窓口が統一されておらず、混乱が生じたことから、今年度新生ふくしま復興推進本部設置に当たり市町村行政課が総括班に組み込まれ、原発被害から大雨による激甚災害まで復旧に係る要望についての窓口を担当しています。

原発避難者特例法について、原発事故により避難を余儀なくされた市町村の方々が避難先において、居住していた市町村と同じ一定の行政サービスを受けられるよう、指定市町村（避難地域 12 市町村及びいわき市）の 13 市町村を対象に「医療・福祉関係」8 法律、「教育関係」2 法律を特例事務として処理するため、避難元市町村と避難先市町村間で避難者情報を共有する名簿が必要になることから、全国に避難をしている方々について他県からの照会を避難元市町村へ確認し回答をしていく事務を担当しています。

地方分権等については、第 2 次一括法まで進み、3 次一括法が公布されたことから、県内市町村へ概要等を説明し条例制定を促したところです。ただし、震災により取扱事務が増えたことから、各市町村人的不足から対応が困難な町村も予想されます。

復興推進に当たり、市町村職員が不足していることから人的支援が必要なため、県が任期付職員を採用し市町村へ派遣することや職種的に市町村単独での募集が困難な職員を各市町村合同での

採用試験で確保するなど、人的支援についても当分の間必要と思われます。

特に避難者の健康保持の面から保健師、インフラ整備のための土木職、建築職が不足している状態です。今後も最終的な受益者である福島県民の方の生活基盤の回復のため引き続き努力したいと思います。

福島の復興に力を!!

平成25年度 福島県内 被災市町村(富岡町・国見町)任期付職員募集

被災市町村による合同採用試験のご案内

- 受付期間 平成25年5月15日(金)～平成25年6月14日(日)
- 第一次試験日 平成25年6月30日(日)
- 試験場 東京都立芝商学校(〒100-8501 東京都港区芝浦1-1-1)
- 募集職種 富岡町：保健師(若干名) 国見町：土木(若干名)

採用説明会のご案内

- 日時 平成25年6月2日(日) 午後1時30分～(開場：午後1時)
- 場所 郡山市市民会館2本庁舎1階 2階ホール(〒970-0801 福島県郡山市)

富岡町役場総務課 Tel. 0120-33-6466
国見町役場総務課 Tel. 024-585-2112

福島県庁総務課 Tel. 024-521-7057

詳しくはWeb▶▶▶ 福島県行政サービスセンター

上記ポスターは、富岡町・国見町合同任期付職員採用試験の時に使用した物です。平成26年度も実施市町村及び募集職種は未定ですが採用試験は実施予定です。

あなたの力を福島で!!

平成25年度 被災地支援のための 福島県任期付職員募集

採用試験のご案内

- 受付期間 平成25年9月6日(日)～平成25年9月27日(日)
- 第一次試験日 平成25年10月20日(日)
- 試験場 中小会場 (東京都立一田高等学校(中小会場)) 福島会館 (福島大学(福島県福島市))
- 募集職種 高、配、調：行政事務、化学、農畜土木、土木、建築、機械、電気 専門知識：土木、保健師
- 派遣先 郡山市、南相馬市、福島県、茨城県

採用説明会のご案内

- 日時 平成25年9月16日(月・祝日) 午後1時40分～(開場：午後1時)
- 場所 郡山市市民会館2本庁舎1階2階ホール

福島県庁総務課 Tel. 024-521-7057

詳しくはWeb▶▶▶ 福島県行政サービスセンター

福島県任期付職員採用試験で使用したポスターです。平成26年度も派遣市町村及び募集職種は未定ですが採用試験は実施予定です。

2 復旧・復興状況や被災地での見聞・感想

「原発避難者からの話：住む家があるのに避難先を転々として、どうして良いか分からず毎日パチンコ屋へ行き、夜は飲み屋に通っていた、金がなくなれば生活保護を受ければ良いと思った等、被災当時の心境を話してくれた人がいました」

また、原発避難区域以外の人と話した時に、「自分達も被害を受けているが保証等はない、原発被害を受けた人は可哀想に思うが、原発保証金で遊んで生活をしている人を見ると働けと思う」など、同じ県民でも自身の環境で感じ方が違うと思いました。

休日、車で南相馬市から浪江町間の国道6号線を通りかかった時に、殆ど津波で流されたのか建物がまばらなため海が見渡せ、がれきの山には草が生い茂り、田圃にはまだ車を取り残されている光景を見た時に、原発被災地の復興はまだまだ先と感じました。